

【No. 1】 鮮魚店に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 売り場は開放型で、冷蔵ショーケースと多段式の冷蔵ケースの組み合わせがよい
2. 入り口付近は平台式冷蔵ショーケースを置くと良いが、店が北に向いていると日差しが入り温度管理が大変である
3. ケース内はできる限り氷を敷く、これは演出的なこともあるが、実際に鮮魚が痛まないためである
4. 刺身の盛り合わせや刺身の短冊の陳列は冷蔵ガラスケースが適し、奥の加工室との仕切りとすると便利である

答. 2

【No. 2】 メガネ店に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. バブル期以降 100～200 坪の大型量販メガネチェーンの台頭によって、街のメガネ店はより専門性が求められている
2. 基本的なジャンル分類は、医療、ファッション、スポーツ、貴金属系となる
3. 検眼設備は 5 m の距離を必要とする検眼室が必要である
4. 顧客が安心して商品を見られる環境、落ち着いて相談できるカウンターなど、顧客との信頼関係をスムーズに確立できる環境が必要である

答. 3

【No. 3】 スポーツ店に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 今日のスポーツ店はますます専門特化の傾向にある
2. 総合スポーツ店では、多種多様の顧客に対応するためにもコンサルティング型のコンセプトを計画に盛り込む必要がある
3. 総合スポーツ店では、売り場を固定せず通年型のアイテム商品とシーズン型アイテム商品をうまくミックスして展示することが大切である
4. 総合スポーツ店では、オールカテゴリーの中でも、「強みのカテゴリーやジャンル」を充実させることは差別化のために必要である

【No. 4】 寿司店に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. にぎり寿司店では一種のパフォーマンスでもあり、寿司を握る板前と客との会話を重んじる
2. にぎり寿司店ではカウンター厨房で煮物、吸い物、洗い物などすべての作業をすることが多い
3. テーブル席や個室がある場合、カウンターで握った寿司をテーブル席に運ばなければならぬので、カウンター席とは別に配膳カウンターが必要となる
4. カウンター席は内部の設備の関係で高くなりがちであるが、ゆったりと食べてもらうためなるべく低いカウンターを心がける

【No. 5】 焼肉店に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 焼肉店とは、韓国料理店のことである
2. テーブルにはコンロが必要なため、ビジネス街でも住宅街でも四人席のテーブルが多い
3. 焼肉店の客単価が高いのは、他のレストランと違い追加料理の需要が多いからである
4. コンロの排気ファンは一つにまとめて排気すると効率がよい

【No. 6】 各種サービス施設に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. フィットネスクラブは公衆浴場法の規制を受ける
2. カラオケボックスでは深夜 10 時～早朝 6 時まで店舗施設の敷地境界付近で 40dB 以下で外部に音が漏れない措置を講じることが決められている
3. 美容室の業務を行う作業室の床面積は 13 m²以上とする

4. ショールーム、展示場は物品販売業を営む店舗とはみなされない

答. 4

【No. 7】 博覧会に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 1878年のパリ万国博覧会でエッフェル塔が建設された
2. 日本での博覧会は、1970年から2017年までの間5回開催されている
3. 本土復帰を記念して、1975年沖縄国際海洋博覧会が開催された
4. 2020年の東京オリンピックの年にハノイでの万国博覧会開催が決定している

答. 1

【No. 8】 わが国の百貨店業態に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

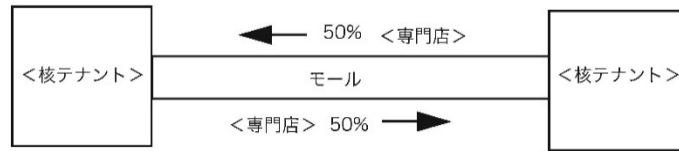
1. 百貨店業界の総売上高は、2000年前後をピークに下降している
2. 百貨店の企業として、売上高トップは、三越伊勢丹ホールディングスである
3. 百貨店の店舗別売上高ランキングのトップは伊勢丹新宿本店である
4. 百貨店の商品部門別売上高は、近年では食品部門より婦人服用品部門の方がやや高い

答. 4

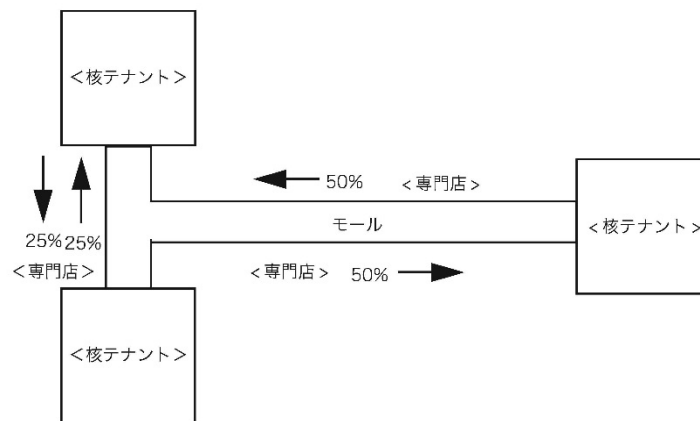
【No. 9】 ショッピングセンター(S C)のプランニングに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. S Cのプランニングの基本はどのモールにも均一に顧客が通れることが原則であり、理想である
2. 図 a のような S Cのモールの場合、核テナントの集客力に対し往復すれば通過頻度は 50% となる

3. 図 b のような S C のモールの場合、分岐したモールは更に半分の 25% となる
4. S C の基本は 2~4 層の構成が多いため、特に 1 階のモール幅は、5~7m が理想で、上層部は吹き抜けを中心に回遊する構成が多く、3m 以上の通路幅が理想である



<図 a>



<図 b>

答. 4

【No.10】 フランチャイズビジネスに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. フランチャイズビジネスは、本部企業と加盟店との関係で成り立つビジネスのスタイルである
2. フランチャイズビジネスは、本部企業の指導により加盟店は同一のイメージ（ブランド）で営業ができ、ロイヤリティ（対価または加盟料）を本部企業に支払う
3. フランチャイズビジネスにおいて、本部企業をフランチャイザーとよび、加盟店はフライチャイザーとよぶ
4. 世界初のフランチャイズビジネスは、「ケンタッキーフライドチキン」といわれている

答. 3

【No.11】 ビジュアルマーチャンダイジングに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 人間の持つ五感のうち視覚を重視した活動である
2. 売り場における店内演出のことで新聞広告やDMなどは含まれない
3. 企業にとって売り上げの向上を目的とした活動である
4. 英語圏ではVMと略して使われている

答. 2

【No.12】 マーチャンダイズプレゼンテーションに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. VMDの方針に基づいて品揃えした商品の見せ方、陳列の仕方のこと
2. VP・PP・IPの一つである
3. マーチャンダイズプレゼンテーションの表現方法には置く・掛ける・着せる・吊るなどがある
4. MDPと略して使われることもある

答. 2

【No.13】 大規模小売店の事業の条件に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. テナントの賃料形態には、固定賃料と歩合賃料の大きく分けて2つのパターンがある
2. 敷金とは、賃貸期間中にテナントから無利子で預かる費用で、テナントの退店時には返却する
3. 保証金とは、建設協力金としての意味合いが強く、賃貸借期間中に一定の利子をつけてテナントへ返却するものとなる
4. 保証金、建設協力金は、以前は合わせて100ヶ月などのケースが多かったが、敷金のみのケースやかなり減額される傾向が強い

答. 1

【No.14】テナントの誘致に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 商業計画段階のコンセプトに基づいてテナント誘致の基本計画を立てる
2. コンセプトに基づいたテナントを中心にリストアップする
3. 事前にテナントのヒアリングを行うなどの調査を実施することが多い
4. 大型商業施設はテナントの相乗効果を図ることを意識し、テナント選びをしていく

答. 2

【No.15】事業収支に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 飲食店の売上げ計画は、日商＝客単価×客席回転率×満席率(客数÷客席数)である
2. 飲食店の光熱費や宣伝費などの運営費(人件費、家賃、原価含まず)は売上の20%から25%が一つの目安である
3. 収支計画は、投資計画、売上計画、支出計画、資金計画を勘案し長期収支計画を作成するものである
4. 資金計画は銀行借入を前提として試算するが、自己資金が見込める場合は含んで試算する

答. 2
